

水稻の播種状況（確定値）について

農業普及技術課 農業革新支援担当

1 県内水稻の播種作業及び育苗の概況

- ・ 県全体の播種盛期は、平年より1日早い4月15日頃となりました（表 播種状況）。
- ・ 日平均気温は、4月第2半旬から第5半旬までは平年に比べ高く推移し、苗の徒長が懸念されましたが、4月第6半旬からは平年並みからやや低く推移したことから（図 気象経過）、概ね良好な苗質が確保される見込みです。

表 県内水稻の播種状況（各農業改良普及センター調べ）

地帯名	本年（月／日）			平年（月／日）			平年差（日）			前年（月／日）		
	始期	盛期	終期	始期	盛期	終期	始期	盛期	終期	始期	盛期	終期
北上川上流	4/12	4/18	4/24	4/13	4/18	4/24	-1	0	0	4/12	4/18	4/24
北上川下流	4/06	4/13	4/20	4/07	4/14	4/21	-1	-1	-1	4/08	4/13	4/21
東部	4/09	4/17	4/24	4/08	4/15	4/22	1	2	2	4/10	4/15	4/22
北部	4/13	4/19	4/25	4/12	4/18	4/24	1	1	1	4/12	4/18	4/24
県全体	4/08	4/15	4/21	4/09	4/16	4/23	-1	-1	-2	4/09	4/15	4/22

- 1) 平年値は平成27年～令和6年の10ヵ年の平均値
2) 始期：10%、盛期：50%、終期：90%に達した日
3) 県全体の数字は、各地帯の作付面積比による加重平均

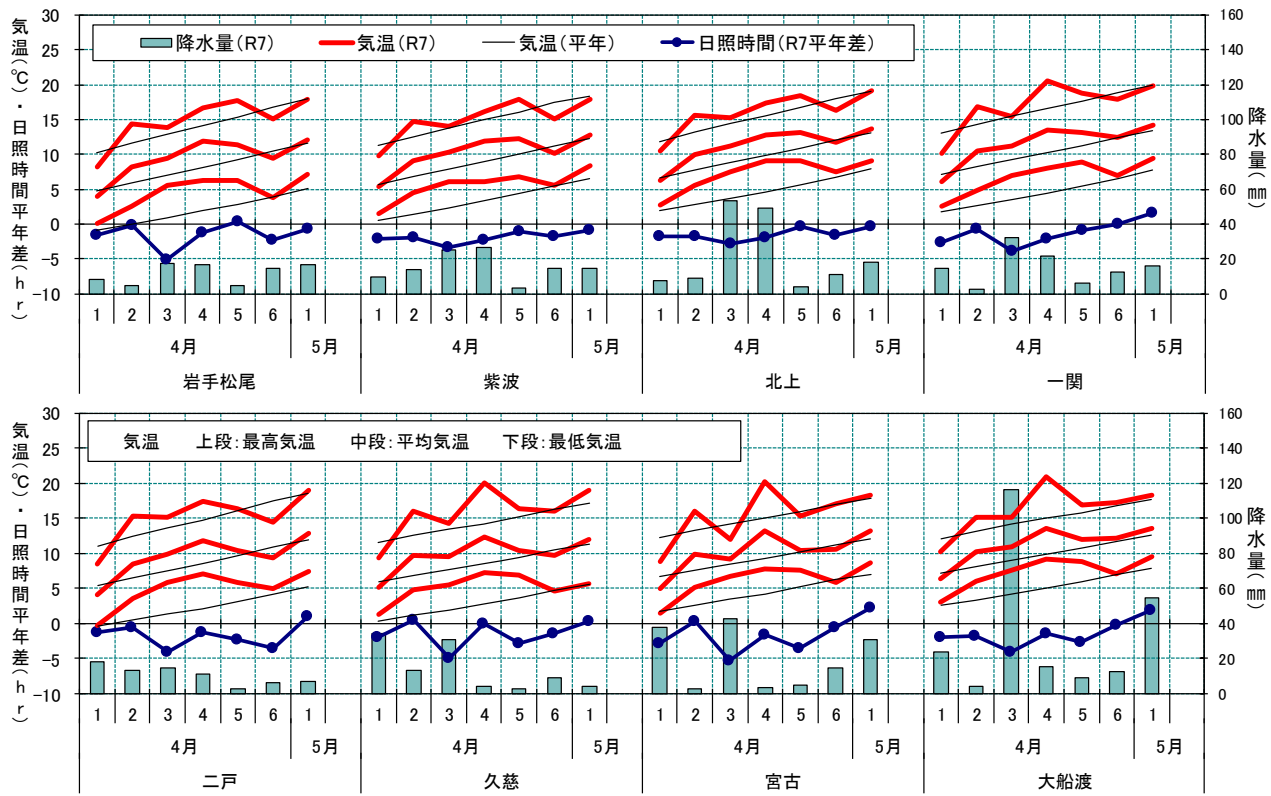


図 県内主要アメダス地点の気象経過

2 今後の技術対策

- ・ 適期に田植えを行う（適期：県南部5月10日～20日、県中北沿岸部5月15日～25日）。
- ・ 田植え作業はできるだけ風の少ない暖かい日を選んで行う。また、田植え直後は活着促進のため、深水により苗を保護する管理を行う（活着までの期間；概ね3～4日）。
- ・ 茎数を確保し安定生産を図るため、栽植密度の確保に努める。